

資料

英語科学習指導案

平成 14 年 10 月 22 日 第 5 校時
1 年 3 組 指導者 井戸 健二

(1) 本時の目標

- ・「学校紹介をしよう」という学習の目的や内容を知り、簡単に英語で表現できる身近な人物を選ぶことができる。

(2) 準 備

ビデオデッキ、ビデオ、テレビ、英文紹介カード

(3) 授業過程

学 習 活 動 (時間)	学 習 活 動 へ の 支 援	形態	評 価 項 目
1 . 英語であいさつする。 (2 分)	○全体でのあいさつの後、個別にあいさつをし、I'm fine.だけではなく、I'm tired(sleepy, hungry)等の表現を使うよう助言する。	一斉 個別	
2 . 単語ゲーム (5 分)	○本時で扱う身近な英単語を用意し、簡単に説明することで生徒が理解できるようにする。		
3 . 「学校紹介をしよう」という学習の目的や内容を把握し、これからの学習の見通しを立てる。 (5 分)	○教師の説明を聞いたり、前時まで学習を想起させることで学習の目的や内容を確認し、今後の見通しを立てるようにする。	一斉	
4 . 日本の学校とアメリカやオーストラリアの学校の違いに気をつけて見る。 (15 分)	○日本の学校生活とどんな違いがあるか意識させながら、アメリカやオーストラリアの学校生活の写真やビデオを見せるようにする。	一斉 個別	○関心をもってビデオを見ている。 【関心・意欲・態度】(観察)
ビデオを見ての感想を発表する。 (10 分)	○自分たちの学校生活を想起させることで発表しやすいようにしていく。	個別	
5 . 簡単に表現できる身近な題材を選ぶ。 (8 分)	○自分の家族や友人、学校の先生等、生徒が日ごろ慣れ親しんでいる身近な人物を例として示すことで、題材を選びやすいようにする。		○簡単に表現できる身近な人物を選ぶことができる。 【関心・意欲・態度】(観察、英文紹介カード)
6 , 本時のまとめをする。 (5 分)	○本時の学習内容のポイントを確認して、理解を深めるようにする。 ○本時の活動を賞賛し、次時への活動意欲を高める。	一斉	

英語科学習指導案

平成 14 年 10 月 23 日 第 3 校時
1 年 3 組 指導者 井戸 健二

(1) 本時の目標

- ・身近な人物を簡単な英文を使って表現することができる。
- ・紹介に工夫を要する身近な題材を選ぶことができる。

(2) 準 備

ワークシート、英語基本表現集、英文紹介カード、自己評価カード

(3) 授業過程

学 習 活 動 (時間)	学 習 活 動 へ の 支 援	形態	評 価 項 目
1 . 英語で質問に答える。 (5 分)	○ 全体でのあいさつの後、既習の英文を使って質問をすることで、英語で表現しようとする雰囲気作りに努める。	一斉 個別	
2 . 身近な題材を簡単な英文を使って表現する。 (15 分)	○ 「英語基本表現集」を参考にして、「英文紹介カード」に前時に選んだ題材を紹介するためのヒントとなる英文を書くようにしていく。 ○ 解答を導き出すヒントの出し方に工夫をすることで、活動への興味を深められるようにする。 ○ 英語を苦手とする生徒には、個別指導をして適切な助言をしていくことでスムーズに活動が進むようにする。	個別	○ ヒントとなる英文を書くことができる。 【表現】(英文紹介カード)
3 . ヒントとなる英文をもとに、ペアでクイズ活動を行う。 (15 分)	○ 相手の生徒が分かるよう、はっきりとした口調で英文を表現できるように助言していく。	ペア 個別	○ クイズを楽しみながら、はっきりとした口調で身近な人物の紹介をしている。 【表現】(発表・英文紹介カード) ○ 友達のクイズを聞いて、その内容を理解している。 【理解】(観察・自己評価カード)
4 . 身近な題材の紹介活動を振り返る。 (5 分)	○ 特に工夫された表現を使っていた生徒の紹介文を紹介することで、今後の活動の参考となるようにする。		
5 . 紹介に工夫を要する身近な題材を選ぶ。(8 分)	○ カバンやペン等生徒が日頃使っている物や授業や給食等、生徒が日ごろ慣れ親しんでいるもの等を例として示すことで、題材を選びやすいようにする。	個別	
6 . 本時のまとめをする。 (2 分)	○ 本時の活動を賞賛し、次時への活動意欲を高める。	一斉	

英語科学習指導案

平成 14 年 10 月 24 日 第 2 校時

1 年 3 組 指導者 井戸 健二

(1) 本時の目標

- ・身近な物を簡単な英文を使って表現することができる。

(2) 準 備

ワークシート、英文紹介カード、英語基本表現集、自己評価カード

(3) 授業過程

学 習 活 動 (時間)	学 習 活 動 へ の 支 援	形態	評 価 項 目
1 . 英語で質問に答える。 (3 分)	○ 全体でのあいさつの後、既習の英文を使って質問をすることで、英語で表現しようとする雰囲気作りに努める。	一斉 個別	
2 . 紹介に工夫を要する身近な題材を英文を使って表現する。 (20 分)	○ 「英語基本表現集」を参考にして、「英文紹介カード」に前時に選んだ題材を紹介するためのヒントとなる英文を書くようにしていく。 ○ 解答を導き出すヒントの出し方に工夫をすることで、活動への興味を深められるようにする。 ○ 英語を苦手とする生徒には、個別指導をして適切な助言をしたり、グループ内でお互いに教え合ったりすることでスムーズに活動が進むようにする。	グループ	○ ヒントとなる英文を書くことができる。 【表現】(英文紹介カード)
3 . ヒントとなる英文をもとに、グループでクイズ活動を行う。 (15 分)	○ 相手の生徒が分かるよう、はっきりとした口調で英文を言えるように助言していく。	グループ	○ ゲームを楽しみながら、分かりやすい表現で身近な人物を紹介をしている。【表現】 (発表、英文紹介カード)
4 . 身近な題材の紹介活動を振り返る。 (10 分)	○ 特に工夫された表現を使っていた生徒の紹介文を紹介することで、今後の活動の参考となるようにする。	一斉	
5 . 本時のまとめをする。 (2 分)	○ 本時の活動を賞賛し、次時への活動意欲を高める。 ○ 次時の予告をする。		

英語科学習指導案

平成 14 年 10 月 29 日 第 2 校時

30 日 第 3 校時

1 年 3 組 指導者 井戸 健二

(1) 本時の目標

- ・学校紹介をするためのスキット作りをすることができる。

(2) 準 備

ワークシート、英文紹介カード、英語基本表現集、自己評価カード

(3) 授業過程

学 習 活 動 (時間)	学 習 活 動 へ の 支 援	形態	評 価 項 目
1 . 英語で質問に答える (3 分)	○ 全体でのあいさつの後、既習の英文を使って質問をすることで、英語で表現しようとする雰囲気作りに努める。	一斉 個別	
2 . ペアやグループで紹介活動をした身近な題材を紹介した英文を使って、グループごとに学校紹介のためのスキット作りをする。 (85 分)	○ 「先生」「教室」「清掃」「給食」「部活動」「学校生活」というテーマで紹介するときの英文をいくつか紹介することで、スキット作りをしやすいようにしていく。 ○ オーストラリアの姉妹校に学校を紹介する活動であることを確認し、「英文紹介カード」「英語基本表現集」教科書の本文を参考にして、テーマや内容を考えていくようにする。 ○ これまでの活動で使ってきた紹介文を活用したり、ジェスチャーを効果的に取り入れたりして、簡単なスキット作りを行っていくようにする。 ○ 英語を苦手とする生徒には、個別指導をして適切な助言をしたり、グループ内でお互いに教え合うことでスムーズに活動が進むようにする。 ○ スキットが出来上がったグループは A L T に見せることで、表現上の不適切な部分があれば直していくようにする。	グル ー プ	○ スキット作りに関心をもって取り組み、グループ内で協力して行っている。 【関心・意欲・態度】 (観 察 、 英 文 紹 介 カ ー ド) ○ テーマごとのスキットを作ることができる。 【表現】(英 文 紹 介 カ ー ド)
3 . スキット作りを振り返る。 (10 分)	○ 特に工夫された表現を使っていたグループのスキットを紹介することで、今後の活動の参考となるようにする。	一斉	
4 . 本時のまとめをする。 (2 分)	○ 本時の活動を賞賛し、次時への活動意欲を高める。次時の予告をする。		

英語科学習指導案

平成 14 年 11 月 5 日 第 3 校時

6 日 第 5 校時

1 年 3 組 指導者 井戸 健二

(1) 本時の目標

- ・学校紹介をするためのスキット作りの発表練習を行い、英語を使つての効果的な表現方法について考えることができる。

(2) 準備

ワークシート、英文紹介カード、自己評価カード、ビデオデッキ

(3) 授業過程

学 習 活 動 (時間)	学 習 活 動 へ の 支 援	形態	評 価 項 目
1. 英語で質問に答える (3 分)	○全体でのあいさつの後、既習の英文を使って質問をすることで、英語で表現しようとする雰囲気作りに努める。	一斉 個別	
2. グループごとに学校紹介のためのスキットの練習を行う。 グループ内で読み合わせを行う。(15 分)	○役割を決めて、自分の分担箇所をはっきりとした口調で大きな声でスキットを読むよう助言することで、発表会につながる練習をしていくようにする。 ○ジェスチャーを取り入れたり、顔の表情等の工夫を行わせることで、見ている人がわかりやすいように表現していく。 ○英語を苦手とする生徒には、個別指導をして適切な助言をしたり、グループ内でお互いに教え合うことでスムーズに活動が進むようにする。	グループ	○ジェスチャーを取り入れるなど、相手にとって、分かりやすい表現方法をグループ内で工夫しながら、スキット作りに関心をもって取り組み、進んで英語で話そうとしている。 【表現】(観察)
グループごとに発表をビデオに撮る。(75 分)	○紹介する人物に登場してもらったり、紹介する物事の場面を映し出すことで、見ている人が分かりやすいものとなるよう配慮する。 ○少々の間違いを気にせず、表現する喜びを感じながら、進んで話そうとすることが一番大切であるということを助言し、楽しんで発表を行う中で、成就感が得られるようにする。		○大きな声で、表情豊かにスキットを発表することができる。 【関心・意欲・態度、表現】(観察)
3. 練習を振り返り、まとめをする。 (7 分)	○特に工夫された表現を使っていたグループのスキットを紹介することで、今後の活動の参考となるようにする。 ○本時の活動を賞賛し、次時への活動意欲を高める。次時の予告をする。	一斉	

英語科学習指導案

平成 14 年 11 月 7 日 第 4 校時

1 年 3 組 指導者 井戸 健二

(1) 本時の目標

- ・出来上がったビデオを視聴し、自分たちの表現の方法を振り返り、今後に生かすことができる。
- ・アメリカやオーストラリアの学校生活と日本の学校生活との違いを考えることができる。

(2) 準 備

自己評価カード、ビデオデッキ、テレビ

(3) 授業過程

学 習 活 動 (時間)	学 習 活 動 へ の 支 援	形態	評 価 項 目
1. ビデオを試聴し、これまでに学んだ外国の学校と日本の学校生活との違いや同じ点を考える。 (45 分)	○ 声の大きさやアイコンタクト、ジェスチャーなどに工夫が見られたり、分かりやすい表現を使ったりした場合には、賞賛を与えることで、今後の学習にさらに意欲が増すようにしていく。 ○ 発表者以外は、自己評価カードに参考になった点や良かった点を記入するよう助言することで、生徒同士で今後に生かしたい点を認め合っていくようにする。 ○ 海外の学校の昼食の場面や授業の様子を想起させることで、違いをとらえやすいようにしていく。また同じ点も合わせて考えさせるようにする。その後自分が考えたことをノートにまとめるよう助言していく。	一斉	○ 自分たちのビデオに関心をもって見ている。 【関心・意欲・態度】(観察) ○ 海外と日本の学校生活との違いに気づくことができる。 【知識・理解】(発表、ノート)
2. 発表会を振り返る。 (5 分)	○ これまでの学習への取組を賞賛し、英語を使って積極的に表現しようとする事への自信を深めるようにしていく。	一斉	

英文紹介カード

1年()組()番()

○紹介活動 その1

【手順】 学校生活の中で、自分が紹介する身近な人物(自分の家族や友人、先生など)を決めよう。

【手順】 紹介するものを基本文例集を参考に簡単な英文で表現してみよう。

○

○

【手順】 で作った英文をヒントにして、パートナーにクイズを出そう。

○紹介活動 その2

【手順】 学校生活の中で、自分が紹介する身近なもの(カバンやペンなどの身の回りのもの、授業や給食)を決めよう。

【手順】 紹介するものを基本文例集を参考に簡単な英文で表現してみよう。

○

○

【手順】 で作った英文をヒントにして、グループでクイズを出し合おう。

第1ヒント

第2ヒント

第3ヒント

* ヒントの作り方・・・ヒントの文を3つ作ろう。

第1ヒントは "I use this when I play baseball." のような文とし、それが何なのかおおまかな内容を示すものとする。

第2ヒントは "I can catch a ball with this." のような、その特徴を示すような文にし、答えがしぼられていくような内容とする。

第3ヒントは "This has five or two fingers." のような、それを聞けば答えが分かるようなものとする。

それぞれのヒント後にまたは "What is this ?" で聞き手に質問する。ヒントの表現については、解答者が分かるようなものとする。どうしても難しい単語や表現を使わなければならない場合は、ジェスチャーを加えたりする。

学校紹介のスキットを作ろう！！

1 年 () 組 () 番 ()

○紹介活動 1 や 2 で作った英文をもとに、グループで協力して学校紹介のためのスキット 作りをしよう。

*「英語基本表現集」の中にある「スキット例」を参考にして、なるべく簡単な英文で作ってみよう。みなさんのスキットの発表がオーストラリアまで届けられるかも・・・。

[illegible]

自己評価カード（身近な人物の紹介）

1年（ ）組（ ）番（ ）

今日の授業を振り返ろう

身近な人物を紹介する活動についての感想を書いてください。

身近な人物を紹介することはあなたにとって、やさしかったですか、難しかったですか。

ア やさしかった。 イ どちらかと言えばやさしかった。 ウ ふつうだった。
エ どちらかと言えば難しかった。 オ 難しかった。

身近な人物を紹介するときに、クイズ活動を取り入れたことについてどう思いますか。

今日の活動では、英語を使って、進んで表現しましたか。

ア 進んで表現した。 イ まあまあ表現した。 ウ あまり表現しなかった。
エ ほとんど表現しなかった。

ペアでの練習や発表で発見した自分や友達のよかったところに ○ をつけよう。

身近な人物紹介の目標	自 分	友 達
大きな声で発音している。		
アイコンタクトに気を付けている		
身振り手振りを使って発表している。		
対話練習を積極的に行っている。		
分かりやすい表現を使っている。		
暗唱して発表している。		
友達と協力して活動している。		

よくできた
○ふつうにできた
もうひとがんばり

自己評価カード（身近なものの紹介）

1年（ ）組（ ）番（ ）

今日の授業を振り返ろう

身近なものを紹介する活動についての感想を書いてください。

身近なものを紹介することはあなたにとって、やさしかったですか、難しかったですか。

ア やさしかった イ どちらかと言えばやさしかった。 ウ ふつうだった。

エ どちらかと言えば難しかった。 オ 難しかった。

身近なものを紹介するときに、クイズ活動を取り入れたことについてどう思いますか。

身近なものを紹介するときに、グループ活動を取り入れたことについてどう思いますか。

今日の活動では、英語を使って、進んで表現しましたか。

ア 進んで表現した。 イ まあまあ表現した。 ウ あまり表現しなかった。

エ ほとんど表現しなかった。

「英語基本表現集」はどうでしたか。アまたはイに○をつけて、具体的に書いてみましょう。

ア 役に立った。

どんなところが？

イ 役に立たなかった。

どんなところが？

グループでの練習や発表で発見した自分や友達のよかったところに ○ をつけよう。

練習や発表での目標	自 分	友 達 の 名 前			
大きな声で発音している。					
アイコンタクトに気を付けている。					
身振り手振りを使って発表している。					
対話練習を積極的に行っている。					
分かりやすい表現を使っている。					
暗唱して発表している。					
友達と協力して活動している。					
自分がクイズを当てることができた。					

よくできた ○ふつうにできた もうひとがんばり

自己評価カード（スキット作り）

1年（ ）組（ ）番（ ）

今日の授業を振り返ろう

学校紹介をするスキット作りの感想を書いてください。

スキット作りをすることはあなたにとって、やさしかったですか、難しかったですか。

ア やさしかった。 イ どちらかと言えばやさしかった。 ウ ふつうだった。

エ どちらかと言えば難しかった。 オ 難しかった。

今日の活動では、英語を使って、進んで表現しましたか。

ア 進んで表現した。 イ まあまあ表現した。 ウ あまり表現しなかった。

エ ほとんど表現しなかった。

「英語基本表現集」はどうでしたか。

ア 役に立った。

どんなところが？

イ 役に立たなかった。

どんなところが？

今回の紹介活動（身近な人物の紹介、身近な物の紹介、スキット作り）全体の活動を振り返っての感想を書いてみよう。

自己評価カード（スキットの発表）

1年（ ）組（ ）番（ ）

1，グループでの練習や発表で発見した自分や友達のよかったところに ○ をつけよう。

練習や発表での目標	自 分	グループの人の名前			
大きな声で発音している。					
アイコンタクトに気を付けている。					
身振り手振りを使って発表している。					
対話練習を積極的に行っている。					
分かりやすい表現を使っている。					
暗唱して発表している。					
小道具を使って発表している。					
友達と協力して活動している。					

よくできた ○ ふつうにできた ○ もうひとがんばり ○

2，学級での発表を見て、よかったところ、参考になった人を書こう。

友達の名前	どんなところがよかったのか、参考になったのか具体的に書こう。

3，スキットの発表を通しての感想を書こう。

4，今回の活動を通して、自分を振り返り、また友達の活動を参考にして、あなた自身の今後の目標を書こう。

英語基本表現集

【語彙】

○身の回りのもの

desk	机	bike	自転車	glove	グラブ
chair	いす	ruler	ものさし	racket	ラケット
blackboard	黒板	class schedule	時間表	soccer ball	サッカーボール
locker	ロッカー	chalk	チョーク	bat	バット
pencil box	ふでばこ	glue	のり	spike	スパイク
pencil	えんぴつ	stapler	ホチキス	bamboo sword	竹刀
eraser	消しゴム	trash can	ごみ箱	trumpet	トランペット
textbook	教科書	dictionary	辞書	brush	筆

○教科に関するもの

lessons	授業	art	美術
Japanese	国語	music	音楽
math	数学	P E	体育
science	理科	Selective Subjects	選択教科
social studies	社会	moral education	道徳
English	英語	Period for Integrated Study	総合的な学習
industrial arts and homemaking	技術家庭		

○教室に関するもの

staff room	職員室	science room	理科室
principal's room	校長室	sick bay	保健室
broadcasting room	放送室	gym	体育館
music room	音楽室	front door	玄関

○部活動に関するもの

volleyball	バレーボール	tennis	テニス	judo	柔道
basketball	バスケットボール	table tennis	卓球	swimming	水泳
badminton	バドミントン	track and field	陸上	art	美術
baseball	野球	softball	ソフトボール	brass band	吹奏楽
soccer	サッカー	kendo	剣道		

○給食に関するもの

lunch	給食	tray	おぼん
food stand	配ぜん台	spoon	スプーン
preparation room	コンテナ室	chopsticks	はし
bucket for food	食缶	apron	エプロン
the same lunch	同じ給食	dish	食器

○清掃に関するもの

division	分担	eraser	黒板拭き
floorcloth	ぞうきん	brush	デッキブラシ
broom	ほうき	move the desk	机を動かす

【基本文例】

○人物を紹介するときによく使われる表現

I am a man(woman).	・私は男性(女性)です。
He is from Ashikaga.	・彼は足利出身です。
I am in my twenties.	・私は20代です。
I am Uchida Hiroaki.	・私は内田 裕昭です。
She is good at cooking.	・彼女は料理をすることが得意です。
I am a baseball fan.	・私は野球ファンです。
He likes judo.	・彼は柔道が好きです。
She can play tennis.	・彼女はテニスをすることができます。
Ms. Matsuzawa teaches Japanese.	・松沢先生は国語を教えます。
Ms. Iizuka gives a lot of homework.	・飯塚先生はたくさん宿題を出します。
Mr. Ido is 37 years old.	・井戸先生は37歳です。
Tom is taller(older, younger) than Ken.	・トムは健より背が高い(年上、若い)です。
She likes baseball better than soccer.	・彼女はサッカーより野球の方が好きです。

○身の回りのものを紹介するときに使われる表現

It is in this classroom.	・それはこの教室の中にあります。
It is something about my club.	・それは私の部活に関するものです。
It is round(square, hard, soft, sharp, long, small, light, heavy, thin).	・それはまるい(しかく、かたい、やわらかい、とがって、長い、小さい、軽い、重い、うすい)。
It is made of wood(rubber, clothes).	・それは木で(ゴムで、布で)できています。
I hit the ball with this.	・これを使ってボールを打ちます。
I play this outside(in the gym, music room).	・わたしはこれを外で(体育館で、音楽室で)します。
I kick this.	・私はこれをけります。
I use this when I play baseball.	・野球をするときにこれを使います。
I use this when I study.	・勉強するときにこれを使います。
I use this when I run (swim, write the letter).	・走るときに(泳ぐときに、文字を書くときに)これを使います。
The color is yellow (orange, brown, silver, white, purple, blue).	・その色は黄色(オレンジ、茶色、銀色、白、むらさき、青)です。
I put things (pencils) in it.	・その中にものを(えんぴつを)しまいます。
It has many letters(numbers).	・それにはたくさんの文字(数字)がのっています。
I can erase(write) the letter with this.	・これで字を消す(書く)ことができます。
I can clean the classroom with this.	・これで教室をきれいにすることができます。
I can listen to music from it.	・それから音を聞くことができます。
Everyone likes(has, uses) it.	・みんながそれを好きです(持っている、使います)。
There are many kinds of it.	・たくさんの種類があります。
It has two tyres.	・タイヤが2つついてます。
It has numbers on it.	・数字が書いてあります。
This room has many desks(windows, pictures).	・この部屋にはたくさんの机(窓、写真)があります。
I use this every day.	・私はこれを毎日使います。
Nine players play this sport.	・9人のプレーヤーがこのスポーツをします。
I use this in school lunch (PE lesson).	・給食の時間(体育の授業)にこれを使います。
Americans and Australians don't use this.	・アメリカ人やオーストラリア人はこれを使いません。
This is similar to baseball(tennis).	・これは野球(テニス)と似ています。

○ 清掃の時に使われる表現

We divide the students into 8 groups.	・生徒を8つのグループに分けます。
How do you use the broom ?	・どのようにほうきを使うのですか。
We collect the dust like this.	・こんなふうにごみを集めます。
The classroom is very clean (dirty).	・教室がとてもきれい(きたない)です。

○ 給食の時に使われる表現

I'm hungry.	・おなかがすきました。
It will be lunch time soon.	・給食の時間はもうすぐです。
Students prepare the lunch together.	・生徒は一緒に給食の準備をします。
We eat the same lunch.	・私たちは同じ給食を食べるのです。

○ 疑問詞で始まる疑問文

Who is he ? (He is Mr.Akino.)	・彼は誰ですか。
What is her name ? (She is Tomoko.)	・彼女の名前は何ですか。
What food does he like ? (He likes natto.)	・彼はどんな食べ物が好きですか。
What sports do you play ? (I play volleyball.)	・あなたはどんなスポーツをしますか。
What do you have in your bag ? (I have a glove.)	・あなたはカバンの中に何を持っていますか。
How do you use that ? (I use it like this.)	・あなたはそれをどんなふうにするのですか。
How about you ? (I am a giants fan.)	・あなたはとうですか。
When do you play soccer ? (I play it every day.)	・いつサッカーをしますか。
Where is the gym ? (It is over there.)	・体育館はどこですか。
How many cups do you have ? (I have ten.)	・カップをいくつ持っていますか。
What time is it ? (It's eight ten.)	・何時ですか。
Whose bag is this ? (It's mine.)	・これはだれのカバンですか。

【つなぎ言葉】

Well.	えーと。	Me too.	私もです。
Let me see.	えーと。	Pardon ?	もう一度お願いします。
Really ?	本当？	Is that so ?	そうなの？
Not really.	そうでもないよ。	That's nice.	すばらしい。
I see.	分かりました。	Sure.	もちろん。
For example,	例えば、		

【スキット例】

先生編

- What is this ?
- Yes.
- I'll give you some hints. He likes natto.
- Natto ? Well, I don't know.
- Next hint. He can play basketball.
- Is he Mr. Uchida ?
- No, he isn't. He can play volleyball , too.
And he teaches PE to us.
- OK. He is Mr. Nakajima.
- That's right.
- Now let's introduce him!
 - ・ He is ~
 - ・ He likes ~

教室紹介編

- What is this ?
- Yes.
- I'll give you some hints.
- OK.
- It is a quiet room.
- Sick bay ?
- No. This room has many old pictures.
- Music room ?
- No. This room has a sofa.
- Oh, it is the principal's room.
- Yes, that's right.
- ・ Our school principal is Mr. Ogushi.
- ・ Hello, Mr. Ogushi. What do you think of our school ?

清掃活動編

- It is in this classroom. Everyone has this.
- I don't know.
- It is square.
- Oh, is it a desk ?
- No. The color is white.
- Notebook ?
- No. This is made of cloth.
- I see. It is a floorcloth.
- Yes. That's right.
- ・ I can clean the classroom with this.
- ・ But I don't wash my face with this.